

## 子育て支援に関するアンケート調査結果報告〈速報版〉

## 1 高槻市子育て支援に関するアンケート調査（以下「ニーズ調査」とする）とは

現行の第二次高槻市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了となり、子ども・子育て支援法に基づき次期計画となる第三次事業計画（令和7年～11年度）の策定が必要となることから、教育・保育、子育て支援に関するサービスの利用状況やニーズを把握するため調査を実施した。報告書は、令和6年4月頃を目途にホームページで公表予定。

## 2 ニーズ調査概要 ※( )内は対前回調査比

	就学前児童の保護者	小学校（1～6年生）の保護者
配布数	7,000 (+4,000)	7,121 (+5,165)
回答数	3,928 (+2,050)	3,904 (+2,138)
回答率	56.1% (△6.5%)	54.8% (△35.5%)
対象者の抽出条件	住民基本台帳より無作為抽出	市内公立小学校から学年ごとにクラスを選定
配布・回答方法	郵送で調査案内 WEB 調査	学校を通じて調査案内 WEB 調査
調査期間	令和5年 11月17日～12月4日	令和5年 10月20日～11月6日

## 3 配布数・回答数・回答率

## (1) 就学前児童

クラス年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
配布数	1,436	1,074	947	1,051	1,249	1,243	7,000
回答数	852	592	532	575	698	679	3,928
回答率	59.3%	55.1%	56.1%	54.7%	55.8%	54.6%	56.1%

## (2) 小学生

学年	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	合計
配布数	1,129	1,197	1,210	1,192	1,189	1,204	7,121
回答数	661	704	657	671	591	620	3,904
回答率	58.5%	58.8%	54.3%	56.3%	49.7%	51.5%	54.8%

## 4 調査結果（抜粋）

※「4. 調査結果」においては、令和5年度実施調査は「今回調査」、平成30年度調査は「前回調査」と表示する。

※平成30年度は小学校高学年の調査は行っていないため経年比較はありません。

### (1) 保護者の就労状況について

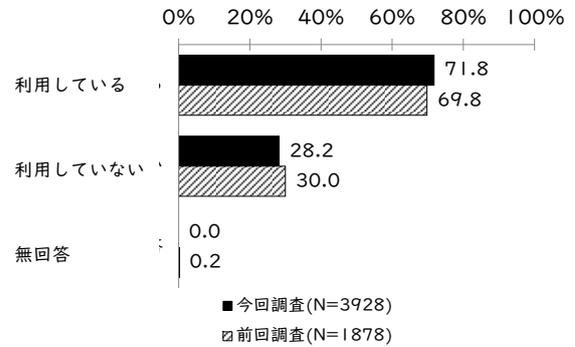
問7（母） 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。



## (2) 平日の定期的な幼稚園・保育所・認定こども園などの利用状況について

問10 宛名のお子さんは現在、平日に幼稚園・保育所などの定期的な教育・保育の事業を利用されていますか

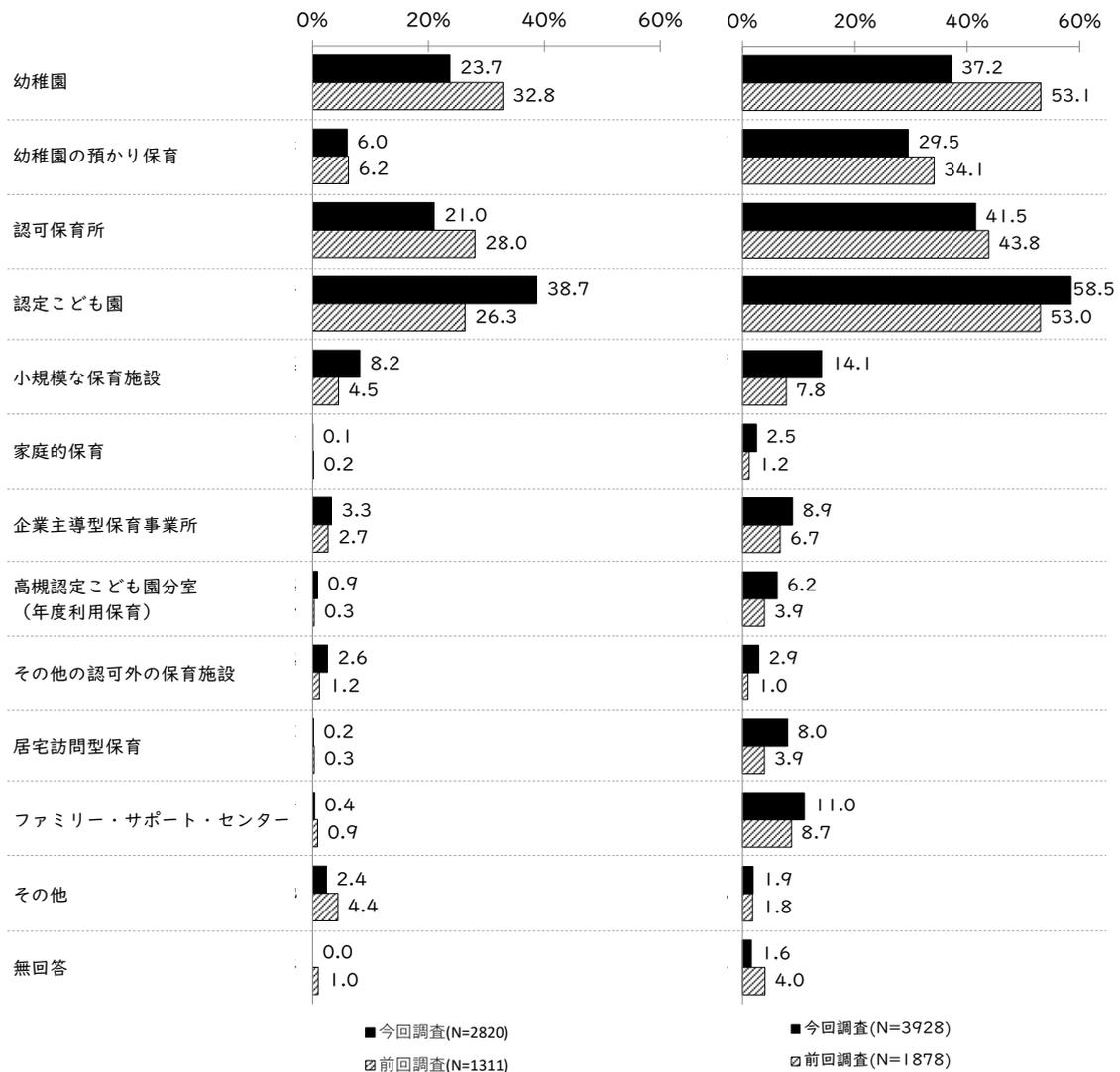
### 【就学前児童】



### 【就学前児童】

問10-1 宛名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。

問11 現在の利用の有無にかかわらず、平日に定期的にご利用したいと考えるものをすべてお答えください。

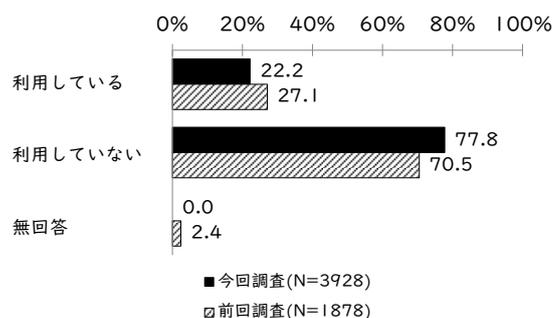


### (3) 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問12 宛名のお子さんは、現在地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

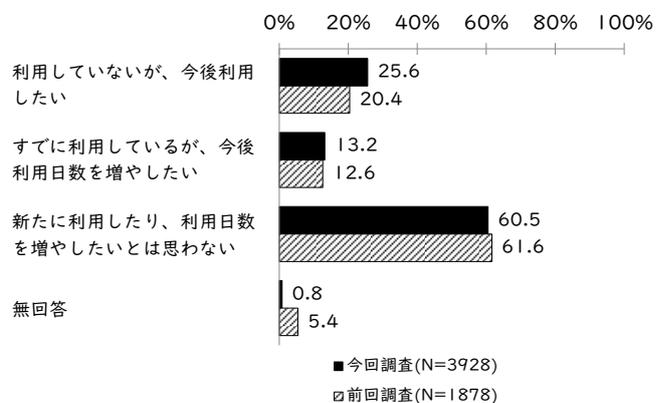
※地域子育て支援拠点事業:親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれている場

【就学前児童】



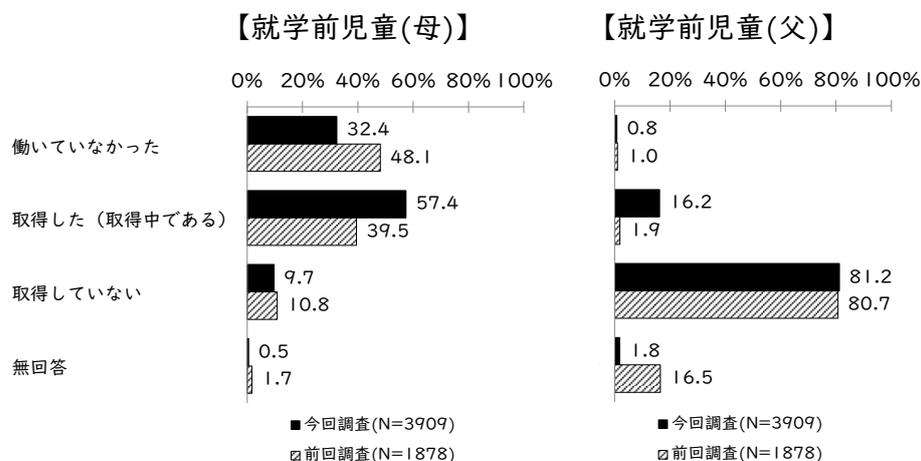
問13 地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい又は利用日数を増やしたいと思いますか。

【就学前児童】

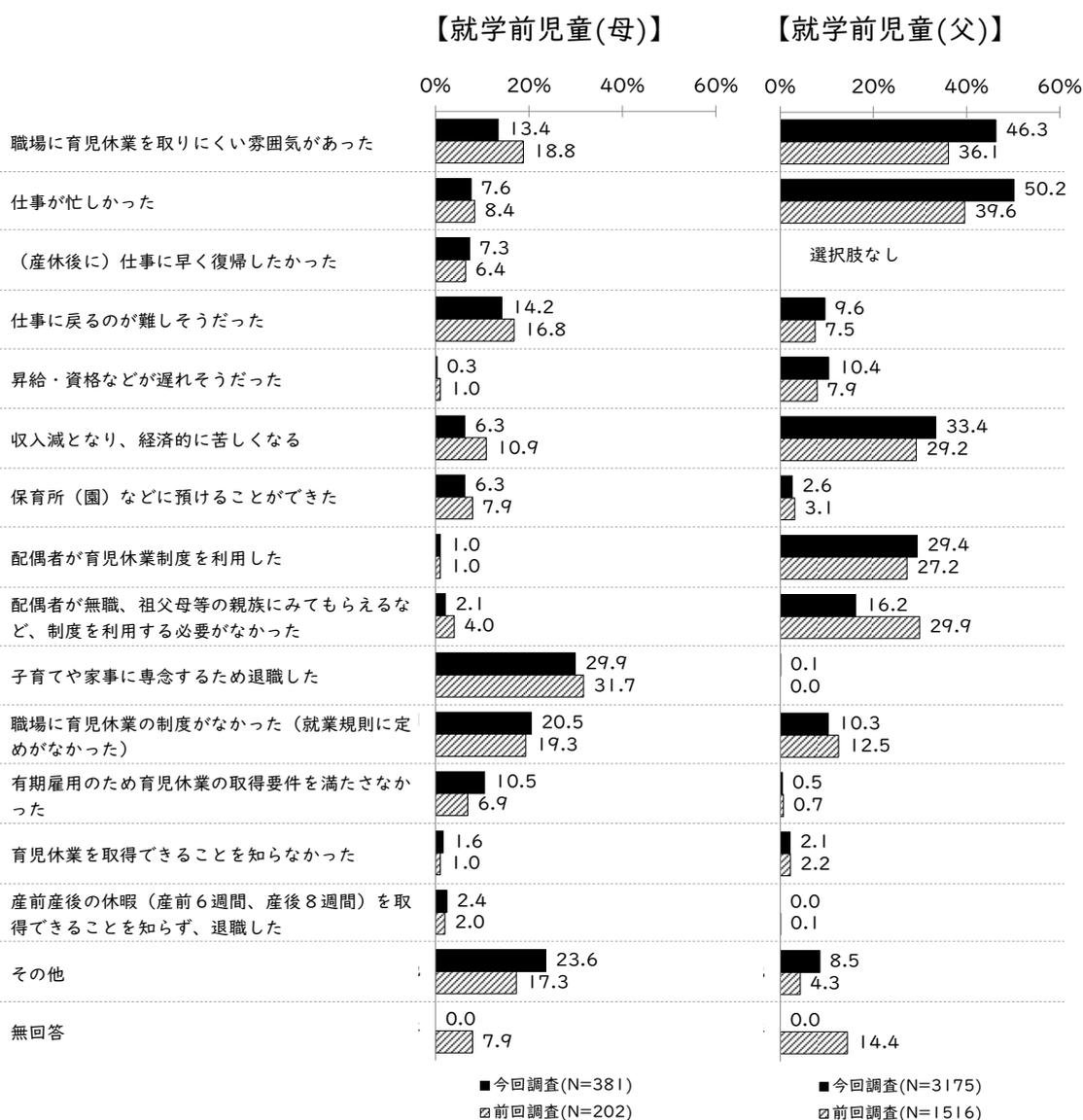


#### (4) 育児休業について

問2-1 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

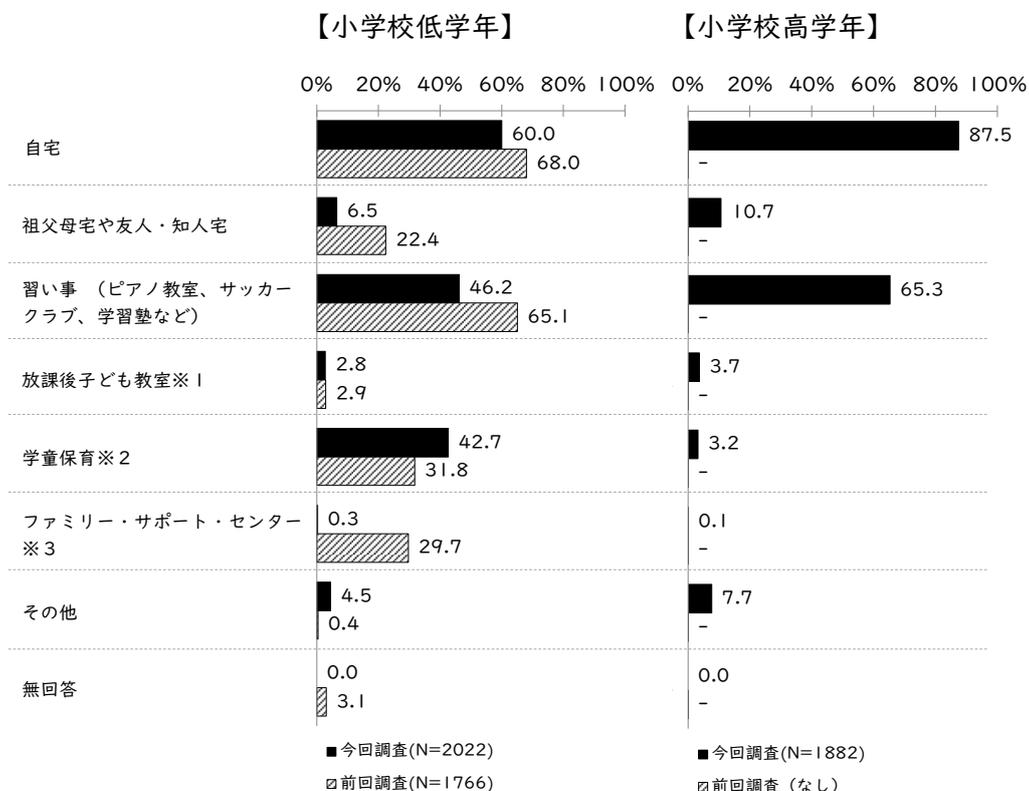


問2-1-1 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。



## (5) お子さんの学童保育の利用状況について

問10 学校のある平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。



※1 各小学校区の地域の方々による運営委員会に教室運営を委託し、宿題等の学習活動、スポーツ文化活動、地域の大人や異年齢との交流等のプログラムで実施されています。

※2 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 市に登録された地域住民が子どもを預かる事業

問10-5 今後、父母とも働く予定や就労条件の変更などの理由で、学童保育を利用したいとお考えですか。

